

今後の課題

本事業で実施したそれぞれの項目についての課題を以下にとりまとめる。

➤ 文献調査について

早生樹に関する文献は、昨年度及び本年度で概ね収集・整理した。しかし、これから公表されるものや、文献の中身が精査できなかった資料などが存在する。そのため、今後もデータ蓄積のための情報を収集する必要があると考える。

➤ 既存植栽地の調査について

本年度は、センダン及びコウヨウザン、チャンチンモドキの既存植栽地を調査した。

センダンについては、ヒアリング調査時、熊本県天草市において平成30年3月に植栽した8箇所のセンダン林分があるとの情報を得たものの、本年度は現地調査を実施することができなかった。8箇所のうち、4箇所は畑・水田跡地、3箇所はヒノキ林等の伐採跡地、1箇所は苗畑の跡地とのことである。熊本県天草広域本部が市町村や森林組合等に呼びかけて芽かきを行うなど、管理も徹底されている。植栽場所の違いによって樹高成長に差が認められるとのことである。植栽適地の判定に関わる情報は、今後のセンダン植栽を推進していく中で一番重要な情報である。次年度には、これらの植栽地にて成長調査や土壌調査を行うことにより、植栽適地に関わる情報を収集・蓄積することが有益であると考えられる。

➤ 早生樹に関する実態調査について

昨年度、種苗生産に関する情報が概ね網羅され、本年度、センダンとコウヨウザンについて需要供給と収益性に関する情報が概ね網羅された。新たな用途の開発等について、あるいは商品開発について、情報を収集することが必要と考える。

➤ 実証的植栽試験の保育作業について

昨年度及び本年度の植栽樹種は、センダンとコウヨウザンであった。次年度においても、植栽地の初期保育（芽かきや下刈り等）を実施し、初期成長やコストについて調査を行うことが望ましい。特に芽かきについては、本年度は夏芽かきのみで、あまり夏芽が出ていなかったため、解析に必要なデータが得られていないと考えられることから、次年度において、これらの芽かきの情報を収集する必要がある。

また、平成29年度植栽地の熊本県天草市では、下刈り前にセイタカアワダチソウがセンダンの背丈を超える高さまで成長し、センダンの成長に負の影響を及ぼしていた。特に、耕作放棄地での雑草木の再生力は強力で繁茂は激しく、当該地の下刈りについては、適切な時期に適切な回数実施することが不可欠であることが分かった。来年度は出来る限り早期に下刈りを実施する必要がある。

コウヨウザンについては、ウサギによる食害が多く地域で課題となっているため、忌避剤を含めたウサギの対策について検討する必要がある。

平成 30 年度
早生樹利用による森林整備手法検討調査委託事業
報告書

平成 31 年 2 月
(発行) 林野庁

(作成) 一般社団法人 日本森林技術協会
〒102-0085 東京都千代田区六番町 7 番地
TEL (03) 3261-5281 (代表) / FAX (03) 3261-5393

<http://www.jafta.or.jp>

